

ひめしん景況レポート

中小企業景気動向調査 No.196

2024年9月期 調査



<調査要項>

・調査時点	2024年	9月上旬	
・調査対象期間	2024年	7-9月実績	
	2024年	10-12月見通し	
・調査対象企業	当金庫取引先	450社	
	有効回答数	444社 (有効回答率98.6%)	
・業種別企業数	製造業	136社、卸売業	68社
	小売業	91社、運輸・サービス業	57社
	建設業	67社、不動産業	25社
・調査方法	営業店調査員による面接聞き取り調査		

この調査では景況判断の基準として、D I (Diffusion Index. 拡散指数)による分析方法を採用しています。各質問項目で増加(上昇、好転など)が占める構成比と減少(下降、悪化など)が占める構成比との差を時系列的に観察し、景況を判断する方法です。

小さなふれあい、大きなおつきあい

 姫路信用金庫

7 - 9 月の概況

● 当金庫取引先の景況感は前期より小幅悪化

当金庫取引先の2024年7-9月期の景況は、業況が「良い」とした企業は全体の15.8%で前期(2024年4-6月期19.1%)から▲3.3ポイント、「悪い」は20.3%で前期(同22.0%)から▲1.7ポイント。全業種総合の業況判断DIは、前期▲3から▲2ポイントの▲5となった。

業種別で見ると、製造業の業況判断DIは、前期+3から▲4ポイントの▲1、非製造業の業況判断DIは、前期▲5から▲1ポイントの▲6となった。

● 来期は改善の見通し

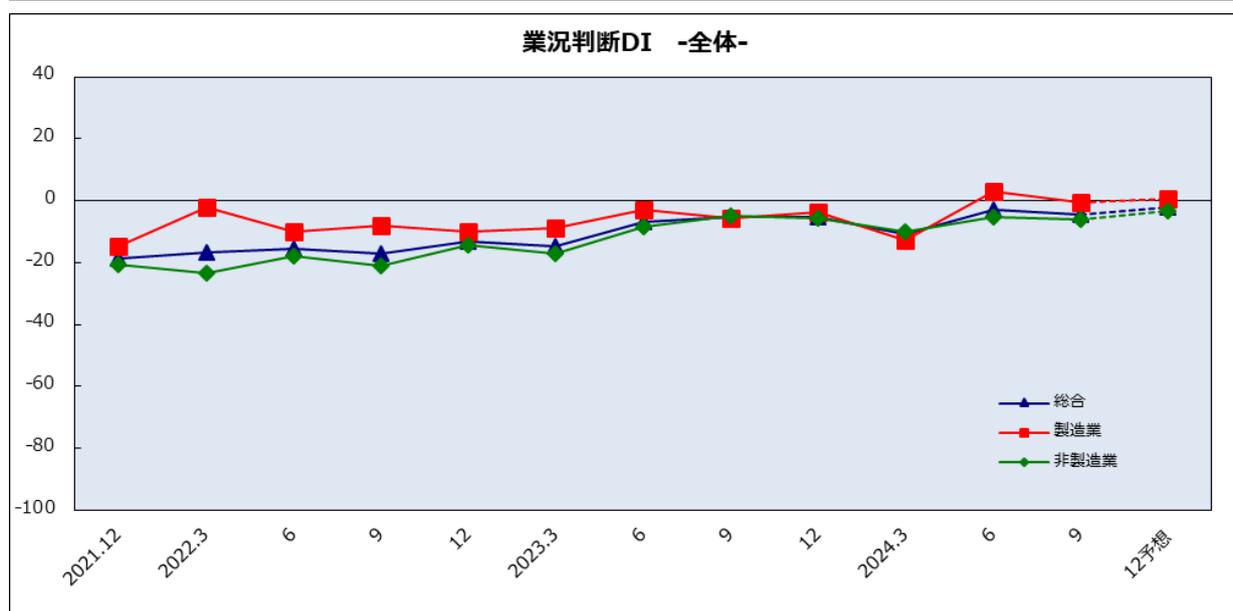
来期(2024年10-12月期)の全業種総合の予想業況判断DIは、今期▲5から+3ポイントの▲2となる見通しである。

業種別に見ると、製造業の予想業況判断DIは今期▲1から+2ポイントの1、非製造業は今期▲6から+3ポイントの▲3となる見通しである。

■ 最近の業況判断DIの推移

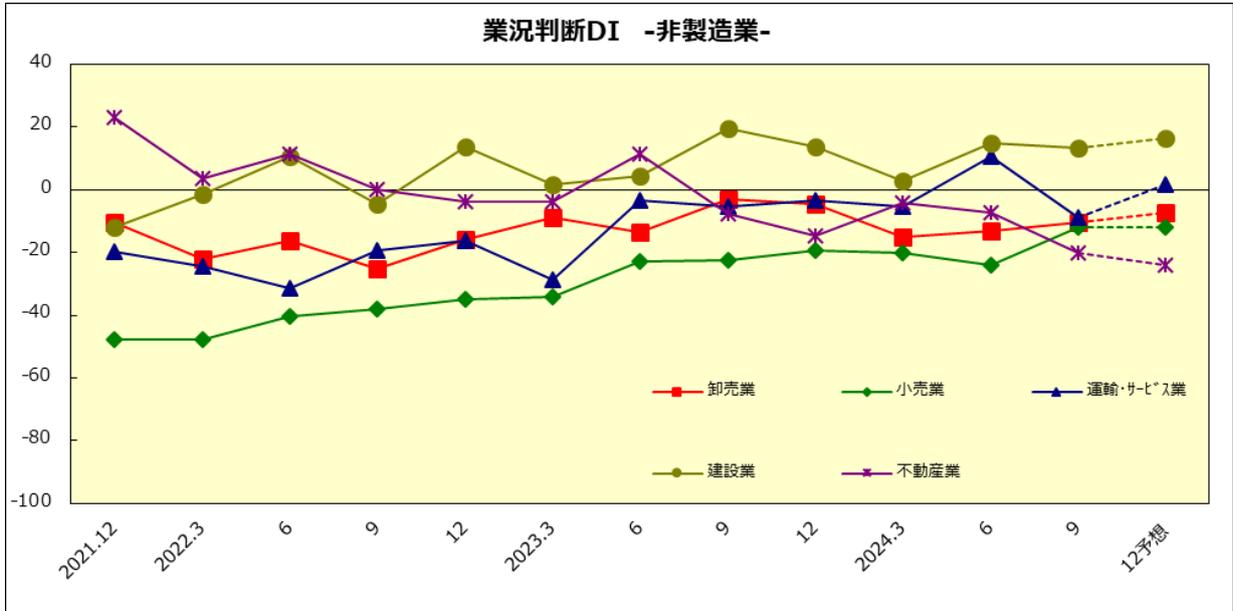
・ 業況判断DI (総合)

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期	2024/10-12期
総合 (444社)		-5 (↗)	-5 (→)	-11 (↘)	-3 (↗)	-5 (↘)	-2 (↗)
製造業 (136社)		-6 (↘)	-4 (↗)	-13 (↘)	3 (↗)	-1 (↘)	1 (↗)
非製造業 (308社)		-5 (↗)	-6 (↘)	-10 (↘)	-5 (↗)	-6 (↘)	-3 (↗)

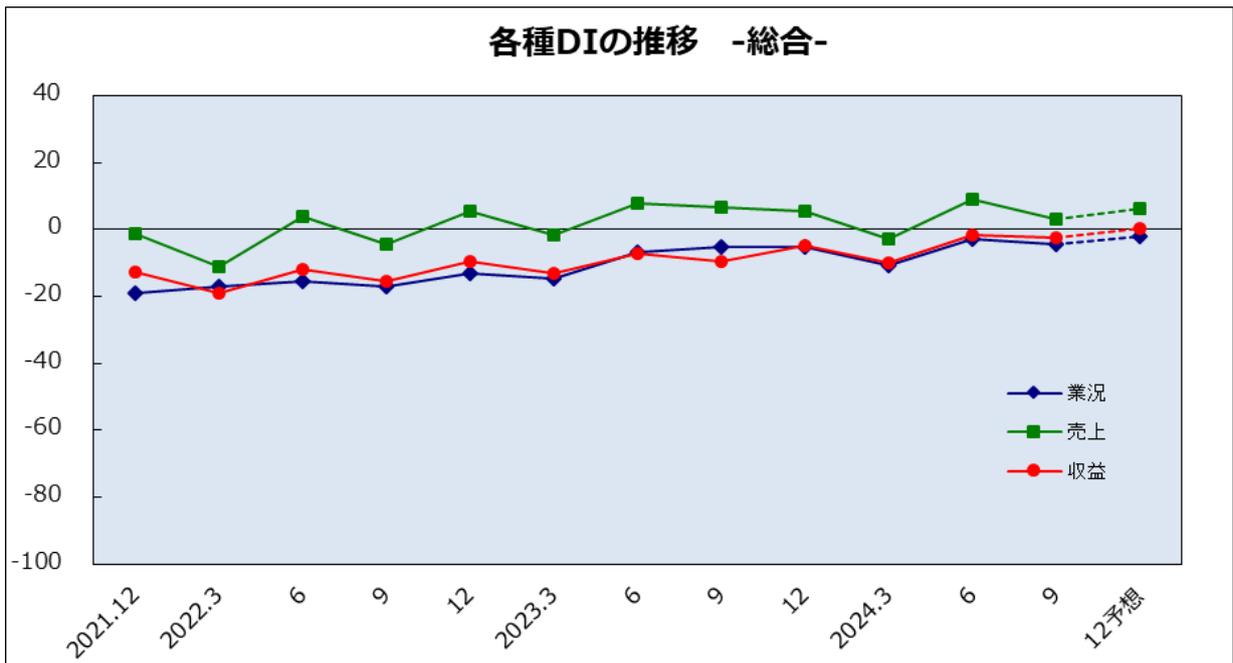


・業況判断 DI (非製造業)

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期	2024/10-12期
卸売業	(68社)	-3 (↗)	-4 (↘)	-15 (↘)	-13 (↗)	-10 (↗)	-7 (↗)
小売業	(91社)	-23 (→)	-19 (↗)	-20 (↘)	-24 (↘)	-12 (↗)	-12 (→)
運輸・サービス業	(57社)	-5 (↘)	-4 (↗)	-5 (↘)	11 (↗)	-9 (↘)	2 (↗)
建設業	(67社)	19 (↗)	14 (↘)	3 (↘)	15 (↗)	13 (↘)	16 (↗)
不動産業	(25社)	-8 (↘)	-15 (↘)	-4 (↗)	-7 (↘)	-20 (↘)	-24 (↘)



■ 業況判断・売上・収益の各種DIの推移



●前期から悪化

製造業は、業況が「良い」とした企業は全体の22.8%で前期(25.0%)から▲2.2ポイント、「悪い」は23.5%で前期(22.1%)から+1.4ポイント。業況判断DIは前期+3から▲4ポイントの▲1となり、前期から悪化した。

来期は、食料品など8業種で改善、一般機械器具など8業種で横這い、電気機械器具など5業種で悪化と予想しており、予想業況判断DIは、今期▲1から+2ポイントの+1と改善する見通しである。

●今期は21業種中、3業種で改善、11業種で悪化

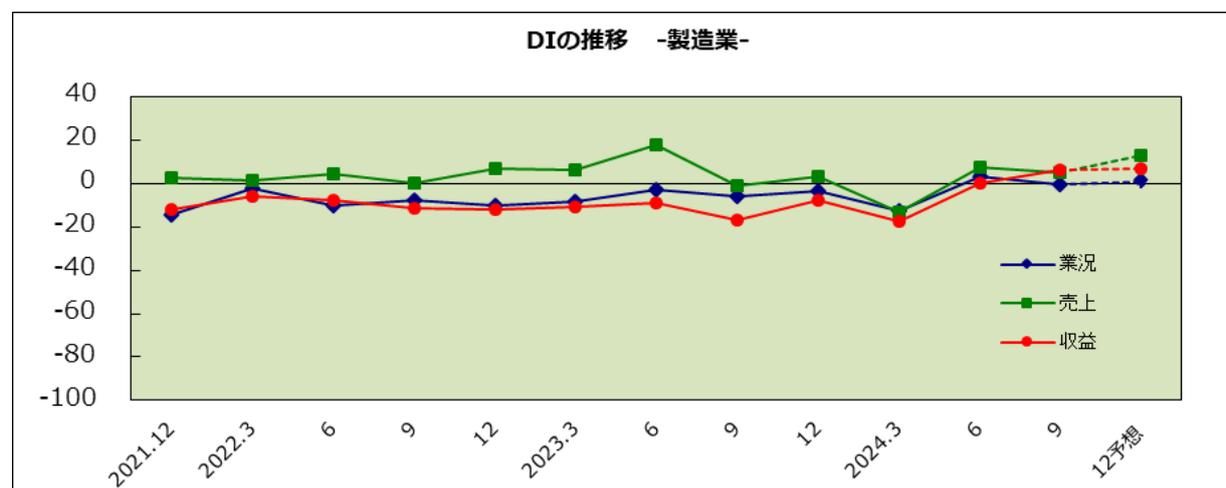
輸送用機械など3業種で改善、金属製品など11業種で悪化

21業種中…業況改善 3業種 / 業況横這 7業種 / 業況悪化 11業種

主な業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期	2024/10-12期
金属製品 (20社)		-25 (↓)	-41 (↓)	-42 (↓)	-26 (↑)	-30 (↓)	-30 (→)
一般機械器具 (17社)		0 (↑)	-6 (↓)	-12 (↓)	12 (↑)	6 (↓)	6 (→)
食料品 (14社)		-14 (→)	-7 (↑)	-7 (→)	23 (↑)	7 (↓)	21 (↑)
輸送用機械器具 (11社)		0 (↓)	18 (↑)	-9 (↓)	-27 (↓)	18 (↑)	27 (↑)
皮革製品 (8社)		50 (→)	50 (→)	-13 (↓)	50 (↑)	38 (↓)	38 (→)
電気機械器具 (7社)		-25 (↑)	-25 (→)	-13 (↑)	0 (↑)	0 (→)	-14 (↓)
プレス・メッキ (7社)		-14 (↑)	-14 (→)	-14 (→)	14 (↑)	14 (→)	0 (↓)
建築用金属製品 (6社)		-29 (↓)	13 (↑)	0 (↓)	-14 (↓)	-17 (↓)	0 (↑)
窯業・土石 (5社)		40 (↑)	40 (→)	40 (→)	60 (↑)	40 (↓)	20 (↓)
出版・印刷 (5社)		-33 (↓)	20 (↑)	20 (→)	-17 (↓)	-20 (↓)	0 (↑)
繊維製品(靴下) (5社)		-20 (→)	-20 (→)	-20 (→)	20 (↑)	0 (↓)	20 (↑)

調査員のコメント

- ・生産現場での従業員が少なく、人材確保が難しい。 (化学工業)
- ・海外との取引があるため、為替の影響が大きく、粗利益等に影響がでている。 (一般機械器具)
- ・受注は前期に比べ増加傾向にあるも、人件費、仕入価格の高騰が続き、利益率が上昇していないことが課題である。 (輸送用機械器具)



● 2 四半期連続の改善

卸売業は、業況が「良い」とした企業は全体の7.4%で前期(10.3%)から▲2.9ポイント、「悪い」は17.6%で前期(23.5%)から▲5.9ポイント。業況判断DIは前期▲13から+3ポイントの▲10となり、2四半期連続で改善した。

来期は農畜産物・水産物などの2業種で改善、飲食料品など3業種で横這い、機械器具など4業種で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期▲10から+3ポイントの▲7と改善となる見通しである。

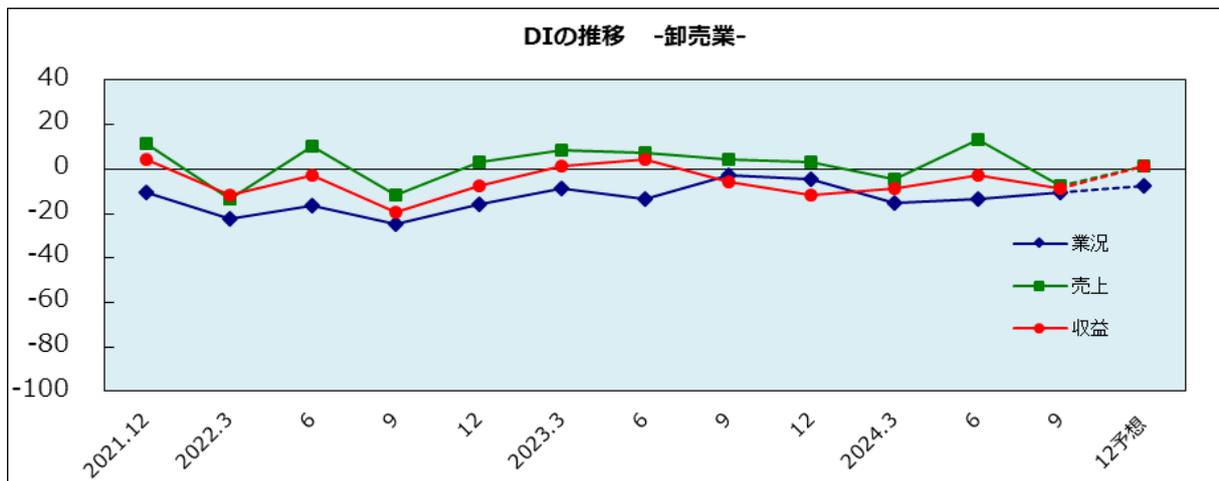
● 今期は9業種中、4業種で改善、2業種で悪化

機械器具、建築材料など4業種で改善、農畜産物・水産物、衣服身回品など2業種で悪化した。
9業種中・・・業況改善4業種 / 業況横這い3業種 / 業況悪化2業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期	2024/10-12期
機械器具	(16社)	16 (↗)	16 (→)	-11 (→)	0 (↗)	6 (↗)	0 (↘)
農畜産物・水産物	(11社)	-40 (↗)	-27 (↗)	-40 (→)	-30 (↗)	-36 (↘)	0 (↗)
建築材料	(10社)	11 (↗)	11 (→)	-22 (→)	-20 (↗)	-10 (↗)	0 (↗)
飲食料品	(8社)	0 (↗)	-29 (↘)	-13 (→)	-33 (↘)	-25 (↗)	-25 (→)
金属材料	(6社)	0 (→)	0 (→)	-17 (→)	0 (↗)	17 (↗)	0 (↘)
化学製品	(4社)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	-25 (↘)
衣服身回品	(3社)	-50 (↘)	-33 (↗)	0 (→)	-33 (↘)	-67 (↘)	-67 (→)
再生資源	(2社)	0 (↘)	0 (→)	50 (→)	50 (→)	50 (→)	0 (↘)
家具建具じゅう器	(1社)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
その他	(6社)	-14 (↘)	-17 (↘)	-14 (→)	-14 (→)	-17 (↘)	0 (↗)

調査員のコメント

- ・原材料は高騰しているが、価格転換できており、デジタル化も上手く活用できている。
(鉱物金属材料・燃料)
- ・同業他社廃業により取引先が増加。デジタル化については取り組みしており、キャッシュレス化が必要な部分は導入済である。
(飲食料品)
- ・若手社員の採用を増加させているが、なかなか長続きしないのが課題である。
(機械器具)



小 売 業 91 社

●前期から改善

小売業は、業況が「良い」とした企業は全体の9.9%で前期(12.1%)から▲2.2ポイント、「悪い」は22.0%で前期(36.3%)から▲14.3ポイント。業況判断DIは前期▲24から▲12ポイントの+12となり改善した。

来期は飲食料品などの1業種で改善、スーパー・コンビニなど3業種で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期▲12から横這いの見通しである。

●今期は12業種中、5業種で改善、2業種で悪化

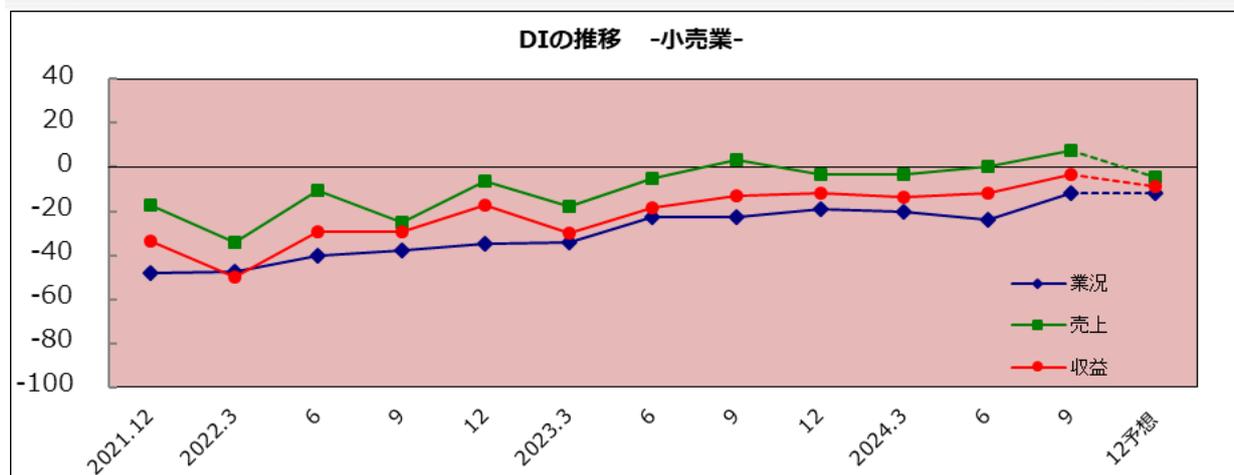
衣服見回品、飲食店など5業種で改善、飲食料品など2業種で悪化した。

12業種中…業況改善 5業種 / 業況横這 5業種 / 業況悪化 2業種

業 種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期	2024/10-12期
飲食料品 (23社)		-32 (↗)	-29 (↗)	-21 (→)	-14 (↗)	-17 (↘)	-4 (↗)
衣服身回品 (15社)		-56 (↘)	-38 (↗)	-40 (→)	-53 (↘)	-33 (↗)	-33 (→)
飲食店 (11社)		-9 (↗)	0 (↗)	9 (→)	-9 (↘)	18 (↗)	18 (→)
自動車 (9社)		0 (→)	-11 (↘)	-11 (→)	11 (↗)	11 (→)	11 (→)
スーパー・コンビニ (8社)		0 (↘)	11 (↗)	-22 (→)	-33 (↘)	0 (↗)	-13 (↘)
ガソリン (6社)		-40 (↘)	-17 (↗)	-17 (→)	-67 (↘)	-33 (↗)	-50 (↘)
書籍・文具 (3社)		-33 (↘)	-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)
家電機器 (3社)		25 (↗)	0 (↘)	50 (→)	33 (↘)	33 (→)	0 (↘)
医薬品・化粧品 (3社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
娯楽用品 (2社)		0 (↗)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	-50 (↘)	-50 (→)
時計・眼鏡 (2社)		-50 (→)	-100 (↘)	-100 (→)	-50 (↗)	-50 (→)	-50 (→)
木材建築材料 (1社)		0 (↗)	0 (→)	-100 (→)	-100 (→)	0 (↗)	0 (→)
その他 (5社)		0 (↘)	-20 (↘)	-25 (→)	-50 (↘)	-20 (↗)	-20 (→)

調査員のコメント

- ・半導体はじめ、部品の供給状況は問題ない。車両価格上昇傾向にあり、消費マインドの低下が懸念される。 (自動車)
- ・駅近くに店を構えており、インバウンド含む観光客の客足が好調で売上回復傾向にある。 (飲食料品)
- ・観光客、宴会などにより売上増加傾向にあるが、更なる利益確保のため仕入先の選別をする方針である。 (飲食店)



●前期から大幅に悪化

運輸・サービス業は、業況が「良い」とした企業は全体の 14.0%で前期(21.1%)から▲7.1ポイント、「悪い」は 22.8%で前期(10.5%)から+12.3ポイント。業況判断 DI は前期+11 から▲20ポイントの▲9となり、前期から大幅に悪化した。

来期は運輸業など3業種で改善、自動車整備・駐車場などの4業種で横這いと予想しており、予想業況判断 DI は、今期▲9から+11ポイントの+2と改善する見通しである。

●今期は7業種中、3業種で改善、3業種で悪化

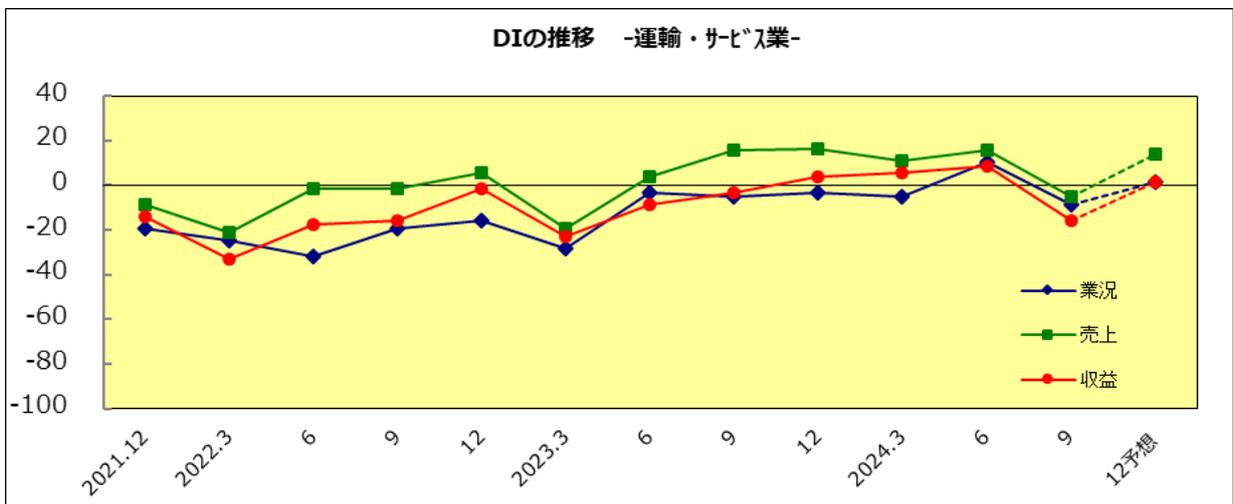
自動車整備・駐車場など3業種で改善、運輸業の3業種で悪化した。

7業種中・・・業況改善 3業種 / 業況横這 1業種 / 業況悪化 3業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期	2024/10-12期
運輸業 (14社)		0 (↗)	29 (↗)	14 (→)	31 (↗)	-21 (↘)	7 (↗)
自動車整備・駐車場 (10社)		0 (↘)	-11 (↘)	-10 (→)	0 (↗)	10 (↗)	10 (→)
クリーニング・理容・美容 (7社)		29 (↗)	-29 (↘)	-14 (→)	29 (↗)	-14 (↘)	-14 (→)
情報サービス・調査・広告 (5社)		-50 (↘)	-25 (↗)	-25 (→)	0 (↗)	20 (↗)	40 (↗)
修理業 (3社)		-33 (→)	-33 (→)	0 (→)	-33 (↘)	-33 (→)	-33 (→)
物品賃貸 (2社)		0 (→)	0 (→)	-50 (→)	0 (↗)	-100 (↘)	-50 (↗)
旅館宿泊所 (2社)		0 (→)	0 (→)	-50 (→)	-50 (→)	0 (↗)	0 (→)
その他 (14社)		-13 (↘)	-6 (↗)	0 (→)	13 (↗)	0 (↘)	0 (→)

調査員のコメント

- ・ガス、ハンガー他原材料価格が値上りしており、近隣同業者の値上げ状況を見つつ、値上げ時期を検討中である。 (クリーニング)
- ・燃料費の高止まりや車両価格の上昇があり、企業収益は厳しい状況である。 (運輸業)
- ・震災等の影響により、売上はやや上昇傾向である。 (自動車整備)



●前期から小幅に悪化

建設業は、業況が「良い」とした企業は全体の 25.4%で前期から横這い、「悪い」は 11.9%で前期(10.4%)から+1.5ポイント。業況判断DIは前期+15から▲2ポイントの+13となり、前期から小幅に悪化した。

来期は、職別工事、設備工事で改善、総合工事で悪化と予想しており、予想業況判断DIは、今期+13から+3ポイントの+16と改善する見通しである。

●今期は3業種中、1業種で改善、2業種で悪化

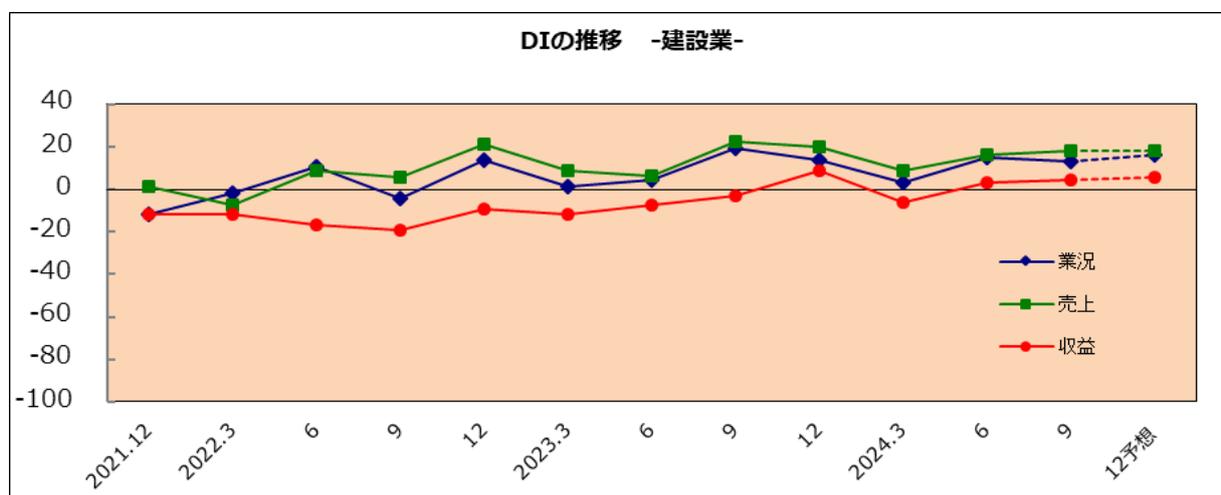
総合工事で改善、職別工事、設備工事で悪化した。

3業種中…業況改善 1業種 / 業況横這 0業種 / 業況悪化 2業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期	2024/10-12期
総合工事 (32社)		13 (↗)	9 (↘)	0 (→)	12 (↗)	16 (↗)	9 (↘)
職別工事 (20社)		33 (↗)	16 (↘)	5 (→)	21 (↗)	10 (↘)	15 (↗)
設備工事 (15社)		13 (↗)	20 (↗)	7 (→)	14 (↗)	13 (↘)	33 (↗)

調査員のコメント

- ・仕入れ価格、人件費の高騰による利益幅減少が悩みであり、今後は工事価格の見直し実施による利益幅確保が課題である。(総合工事)
- ・今期も酷暑が続き、現場の作業効率は低下傾向。材料費高騰、人件費増加傾向の中、営業強化を心掛けている。(職別工事)
- ・大阪万博のパビリオン建設にかかる受注も確保しており、安定推移を見込んでいる。(設備工事)



不動産業 25社

●前期から大幅に悪化

不動産業は、業況が「良い」とした企業はなく、「悪い」は 20.0%で前期 (22.2%) から▲2.2ポイント。業況判断 DI は前期▲7 から▲13ポイントの▲20となり、前期から大幅に悪化した。

来期は、不動産代理・仲介など3業種で横這い、建売・土地売買で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は今期▲20 から▲4の▲24と悪化する見通しである。

●今期は4業種中、1業種で改善、2業種で悪化

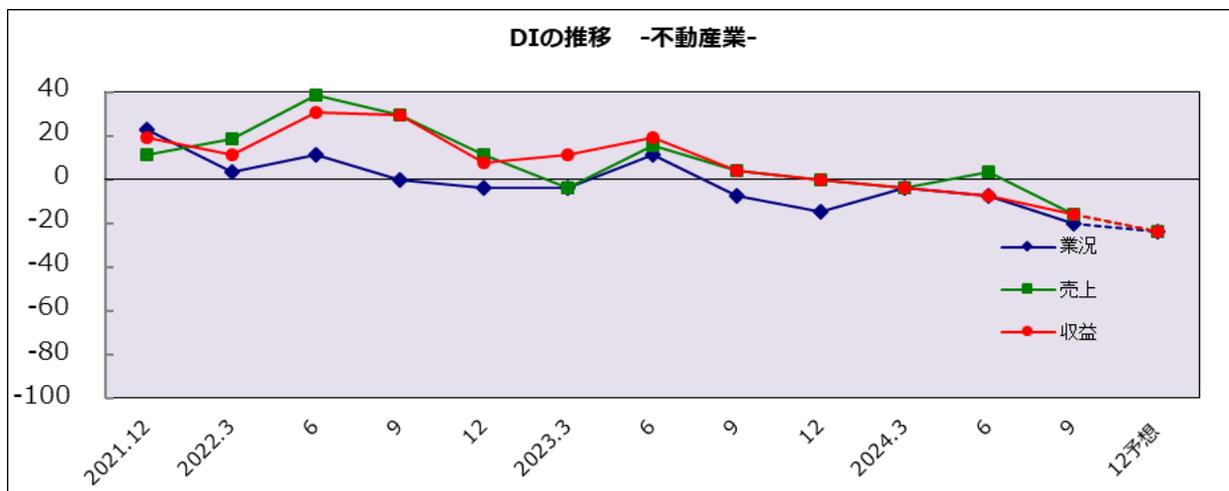
不動産代理・仲介の1業種で改善、建売・土地売買、貸家・貸間の2業種で悪化

4業種中・・・業況改善1業種 / 業況横這い1業種 / 業況悪化2業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期	2024/4-6期	2024/7-9期	2024/10-12期
建売・土地売買 (11社)		-8 (↓)	-17 (↓)	-7 (→)	9 (↑)	-9 (↓)	-18 (↓)
不動産代理・仲介 (10社)		-13 (↓)	-20 (↓)	-17 (→)	-30 (↓)	-29 (↑)	-29 (→)
貸事務所・土地賃貸 (2社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
貸家・貸間 (2社)		0 (↓)	0 (→)	100 (→)	50 (↓)	-33 (↓)	-33 (→)
その他 (1社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	-50 (↓)	-50 (→)	-50 (→)

調査員のコメント

- ・インターネットを介した情報発信 (SNS等含) が、消費者に与える影響は大きいと考えている。
(建売・土地売買)
- ・商品物件の高騰、不足が続いており、情報力の強化が必要とのこと。
(建売・土地売買)
- ・現状は利益幅に大きな変化は無いが、利上げにより利益に影響はでてくると考える。利益を上げる為、駐車場の賃貸等も始めている。
(貸事務所・土地賃貸)



~MEMO~